

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
99.10.8 No. 5028

歩みつづけた「激闘の20年」! その真価かけ労働運動の奔流形成へ

11・7労働者集会、根こそぎ決起へ

機は熟している

大結集の力で「分割・

民営化」に決着を!

われわれ動労千葉は、第二十七回定期大会を圧倒的にかちとり、結成二十周年にふさわしい新たな方針を満場一致決定した。

「激闘の二〇年」の全成果をステップに、満ちあふれている怒りの声を結集し、「ガイドライン体制下の労働運動」への飛躍をめざし起ちあがることを高らかに宣言した。

十一・七全国労働者総決起集会は、二〇〇〇年の闘いへの第



一弾、初陣である。全支部根こそぎ結集で動労千葉の団結力を示そう。

JR体制打倒へ

この機を逃すな

JR体制は、貨物・三島の経営危機はもとより、借金は返せず、列車はまともに動かず、革マルの結託体制も矛盾が噴き出している。

JR総連・革マルは組織内は憎悪と猜疑心にとりつかれ、革マル分子による陰惨な「摘発運動」に、東労組組合員のいらだちと怒りは日増しに高まり、今や「臨界」に達しようとしている。敵は、二進も三進も行かない破綻の危機に直面し、そこからの乗切をはかるために、新たな大合理化攻撃を「動労千葉解体」「一〇四七名闘争団の解体」に乗り出そうとしている。

だがわれわれは、決して微動だにしない! 二〇余年の様々な困難をのりこえ、団結を守り、原点を見失うことなく歩み続け、血と汗で築きあげた「俺たちの動労千葉」! この団結に確信をもち、敵の新たな攻撃に対しては、われわれの飛躍をもってこれにこえ、必ず打ち砕く。

動労千葉と、全国金属機械労組・港合同、全日本建設運輸連帯労組関西地区生コン支部の

冬季物販始まる 組織内・県内・全国に広げよう

九月二十八日十八時より動力車会館で九九冬季物販担当者会議を、各支部代表十八名を含む二十五名で開催しました。会議は長期にわたる不況下の取り組みの結果売り上げのダウンを余儀なくされた夏季物販を総括し、冬の取り戻しを誓う意志統一をかちとりました。十月十二日よりスタートする全国オールドは、日帰り一七日、泊り二七本一三三日の合計二五〇日に及ぶ大運動として展開されま

す。清算事業団闘争の正念場を迎え、国労一部役員の動揺と屈服を乗り越え、闘争闘争団と同じ立場から改革法承認を拒否し、政府やJRに首切りの責任をキツチリとらせる必要があります。今日、出口なき不況は労働者の生活を直撃し、リストラ、首切りとしてあらわれ、失業者は三〇〇万人を突破し、経済的理由の自殺者は戦後最大の増加とマスコミにとりあげられております。いまや労働者の「生きる」ためのたたかいが切実に求められています。「資本と労働者は水と油、絶対に相容れない」関係であるということが、これほどハッキリした時代はありません。

こうした全国の苦闘する仲間との交流を物販運動を通して掘り起こし、支援の輪を拡大しようではありませんか。戦争と大失業の時代に「生きかたたかう」動労千葉の意気込みと勝利の展望を示すため、全組合員の総決起、総行動を訴えます。

『三本の矢』のもとに心ある多くの労働者の結集が始まっている。われわれは、今こそこの先頭に立って、激動の時代を切り開こうではないか。

「十一・七労働者全国集会」(日比谷野外音楽堂)に全支部根こそぎ結集を実現しよう。



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!